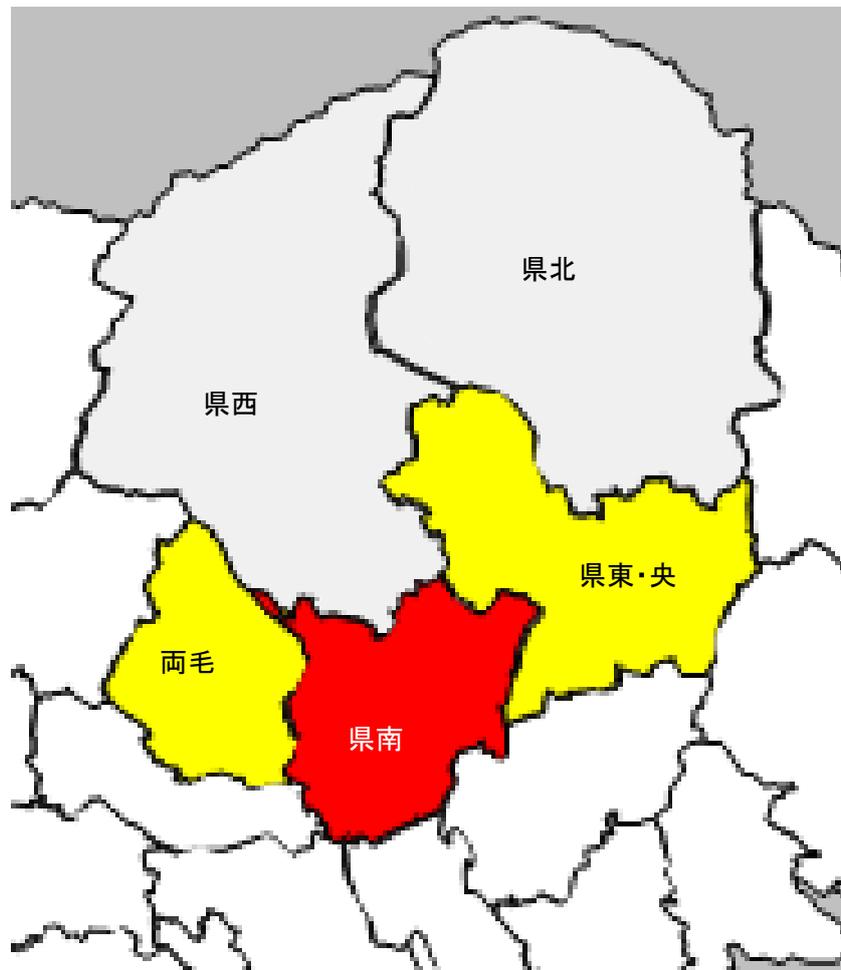


9. 栃木県



9 栃木県

A. 医療提供体制の現状

栃木県の特徴は、(1) 県南への医師集中、(2) 他の地域の医療資源の不足、(3) 医療需要増に対応すべき地域の存在である。

(1) 県南への医師集中

人口 47 万の県南（小山）医療圏に、自治医大と独協医大があり、県内の医師の 53%がこの地域に集中、偏差値は 80 である。この地域の存在により栃木県全体の病院勤務医の偏差値は 51 と全国平均を超えるが、他の地域は全て 45 を切る医師不足地域になっている。

(2) 他の地域の医療資源の不足

県南を除く 4 つの医療圏は、病床数、一般病床数、全身麻酔数、総看護師数の全てが 50 を下回っている。県庁所在地のある宇都宮の病院勤務医数は、全国の県庁所在地の中でワースト 2 であり、県北、県西の医療資源も不足気味である。

(3) 医療需要増に対応すべき地域の存在

2010 年→35 年にかけて 75 歳以上人口が 60%以上増える医療圏が、県北（62%）、県東・央（86%）、県南（74%）であり、県北と県東・央は医療不足地域である。高齢者医療の対応を中心とした医療提供体制の充実が望まれる。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

(県北)

県北は、人口当たりの病院勤務医数の偏差値が 40、全身麻酔数 42、総看護師数 41 であり、医療の不足した地域である。脳血管疾患や虚血性心疾患の患者が、県東・県央や県南まで移送されることが珍しくない。2010→35 年にかけての総医療需要 12%増、後期高齢者の医療需要の増加率も 62%と高く、この地域では、医師と看護師の増員、高齢者向けの施設や療養、亜急性期病床の増強が必要である。

(県西)

県西は、日光を含む栃木県西部の山間部を占める医療圏である。人口当たりの病院勤務医数の偏差値が 40、全身麻酔数 39、総看護師数 43 であり、県北同様、医療の不足地域である。救急医療や高度医療などで、県南への依存が強い。2010→35 年にかけての人口 21%

減、総医療需要 2%増、後期高齢者の医療需要の増加率が 44%であり、地域内や県南とのネットワークの強化、移送能力の向上、急性期病床は現状維持、高齢者向けの施設の増強が必要であろう。

(県東・央)

県東・央は、県庁所在地の宇都宮を含む医療圏である。医学部が 2 校ある県南に病院勤務医が集中している結果、県東・央の病勤務医の偏差値が 42、宇都宮は全国の県庁所在地の中で人口当たりの病院勤務医数が、2 番目に少ない。全身麻酔数の偏差値が 46、看護師数が 45 と低く、多くの患者が県南の大学病院で手術を受けている。

2010→35 年にかけての人口減少率が 8%と少なく、総医療需要 20%増、後期高齢者の医療需要の増加率が 86%と高い。将来に向けて、医師と看護師の増員、高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強が必要な地域である。

(県南)

人口 48 万人の医療圏に自治医大と独協医大があり、病院勤務医の偏差値が 80、県東・央や県西からも、多くの患者が集まる。全身麻酔の偏差値が 62、看護師数が 53 から、臨床に関わらない医師や、医学研究の比率が高い医師が多いことが予想される。

2010→35 年にかけての人口 12%減、総医療需要 14%増、0-64 歳の医療需要 25%減、後期高齢者の医療需要の増加率が 74%より、県南での急性期医療を担う医師の過剰が予想されるので、県南における医師養成の適正数をもう一度検討すること、県南で働く多くの医師が、県東・央や県北、県西などの医師不足地帯で働くようにする方策の検討と実施が必要だろう。また、この地域は療養病床や高齢者施設が少なく、74%増と予想されているこの地域の後期高齢者に対応した施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強も必要である。

(両毛)

両毛は、人口当たりの病院勤務医数の偏差値が 44、全身麻酔数 47、総看護師数 46 である。足利日赤や佐野厚生を中心に、地方の医学部のない地方都市としては、充実した医療が提供されている。2010→35 年にかけての総医療需要 3%減、0-64 歳以上医療需要が 32%減、後期高齢者の医療需要の増加率も 36%増と栃木県最低であるので、急性期病床の一部を療養や亜急性などの病床への転換を図り、現在のある施設の有効活用、地域内のネットワークの強化などを目指していくべきであろう。

表 9-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→35年総人口増減率	2010→35年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-14%	59%
栃木県	2,007,683	20位	6,408	20位	313.3		22%	-13%	66%
県北	393,065	20%	2,230	35%	176.3	地方都市型	22%	-13%	62%
県西	198,935	10%	1,972	31%	100.9	過疎型	25%	-21%	44%
県東・央	661,518	33%	981	15%	674.5	地方都市型	20%	-8%	86%
県南	478,386	24%	692	11%	691.7	地方都市型	21%	-12%	74%
両毛	275,779	14%	534	8%	516.5	地方都市型	25%	-21%	36%

図 9-1 総人口と75歳以上人口の増減率（2010年→35年）

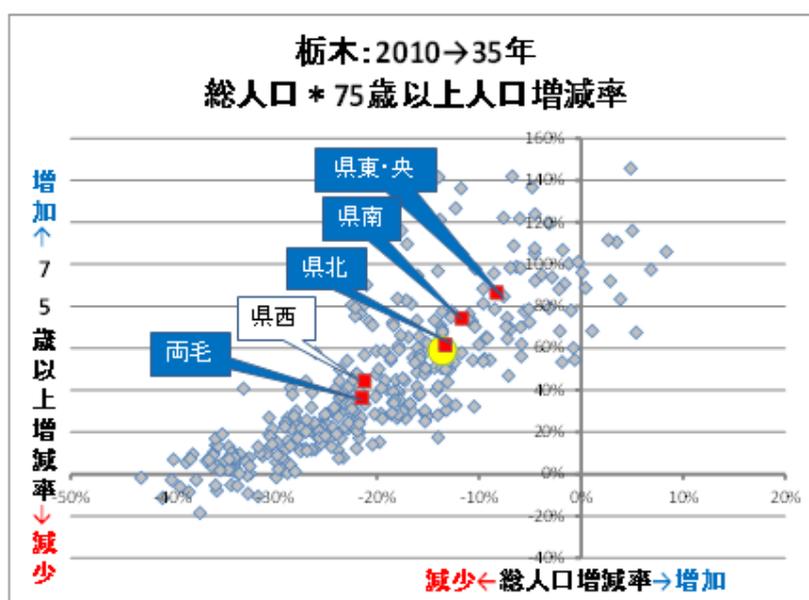


表 9-2 総病床数、一般病床数、総高齢者ベッド数

二次医療圏	総病床数				一般病床数(再掲)				総高齢者ベッド数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	一般病床数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総高齢者ベッド数	県内シェア	75歳1000人当り	偏差値
全国	1,672,549		1,306	504	915,096		715	244	1,344,835		96	20.5
栃木県	23,246	1.4%	1,158	47	12,571	1.4%	626	46	15,816	1.2%	73	39
県北	4,201	18%	1,069	45	1,872	15%	476	40	2,903	18%	64	35
県西	2,206	9%	1,109	46	1,063	8%	534	43	1,803	11%	69	37
県東・央	7,949	34%	1,202	48	3,769	30%	570	44	4,805	30%	76	41
県南	5,676	24%	1,186	48	4,065	32%	850	56	3,239	20%	68	37
両毛	3,214	14%	1,165	47	1,802	14%	653	47	3,066	19%	91	48

※偏差値の「全国」については標準偏差を示している。以下同様。

高橋泰、(株)ウェルネス、「二次医療圏データベース 集計集」2012
(A、「医療提供体制の現状」、表9-1、表9-2、表9-5、図9-4)

図 9-2 病床数（人口10万当たり）、総高齢者ベッド数（75歳以上1,000人当たり）

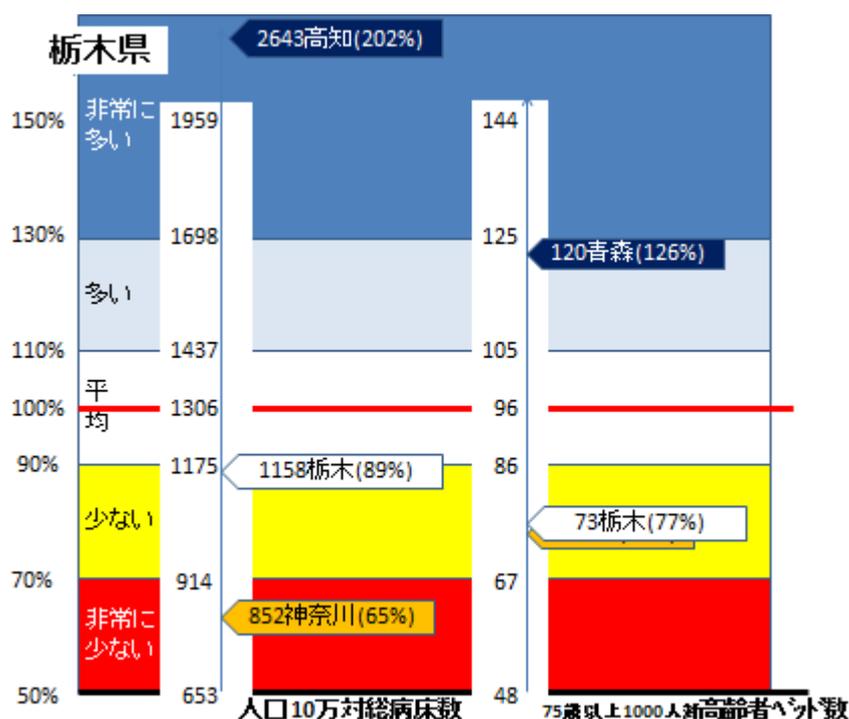


表 9-3 療養病床数、回復期病床数、精神病床数

二次医療圏	療養病床数				回復期病床数				精神病床数			
	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	333,717		261	208	61,697		48.2	44	349,345		273	211
栃木県	4,278	1.3%	213	48	916	1.5%	46	49	5,321	1.5%	265	50
県北	970	23%	247	49	259	28%	66	54	1,094	21%	278	50
県西	580	14%	292	51	33	4%	17	43	526	10%	264	50
県東・中央	1,593	37%	241	49	239	26%	36	47	2,236	42%	338	53
県南	545	13%	114	43	285	31%	60	53	781	15%	163	45
両毛	590	14%	214	48	100	11%	36	47	684	13%	248	49

表 9-4 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、療法士数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				療法士数			
	救命救急センター	県内シェア	人口100万当り	偏差値	がん診療拠点病院	県内シェア	人口100万当り	偏差値	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	203		1.59	2.43	377		2.94	3.5	87,999		68.7	38
栃木県	5	2.5%	2.5	54	5	1.3%	2.5	49	942	1.1%	47	44
県北	1	20%	2.5	54	0	0%	0	42	216	23%	55	46
県西	0	0%	0	43	1	20%	5.0	56	80	8%	40	42
県東・中央	1	20%	1.5	50	1	20%	1.5	46	259	27%	39	42
県南	2	40%	4.2	61	2	40%	4.2	53	286	30%	60	48
両毛	1	20%	3.6	58	1	20%	3.6	52	102	11%	37	42

表 9-5 病院勤務医数、総看護師数、DPC 病院での全身麻酔件数

二次医療圏	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	157,166		123	53	843,730		659	222	1,790,784		1,398	795
栃木県	2,553	1.6%	127	51	11,520	1.4%	574	46	25,378	1.4%	1,264	48
県北	271	11%	69	40	1,807	16%	460	41	2,880	11%	733	42
県西	137	5%	69	40	997	9%	501	43	1,066	4%	536	39
県東・央	540	21%	82	42	3,670	32%	555	45	7,076	28%	1,070	46
県南	1,358	53%	284	80	3,470	30%	725	53	11,106	44%	2,322	62
両毛	247	10%	90	44	1,575	14%	571	46	3,250	13%	1,178	47

図 9-3 病院勤務医数（人口 10 万人当たり）

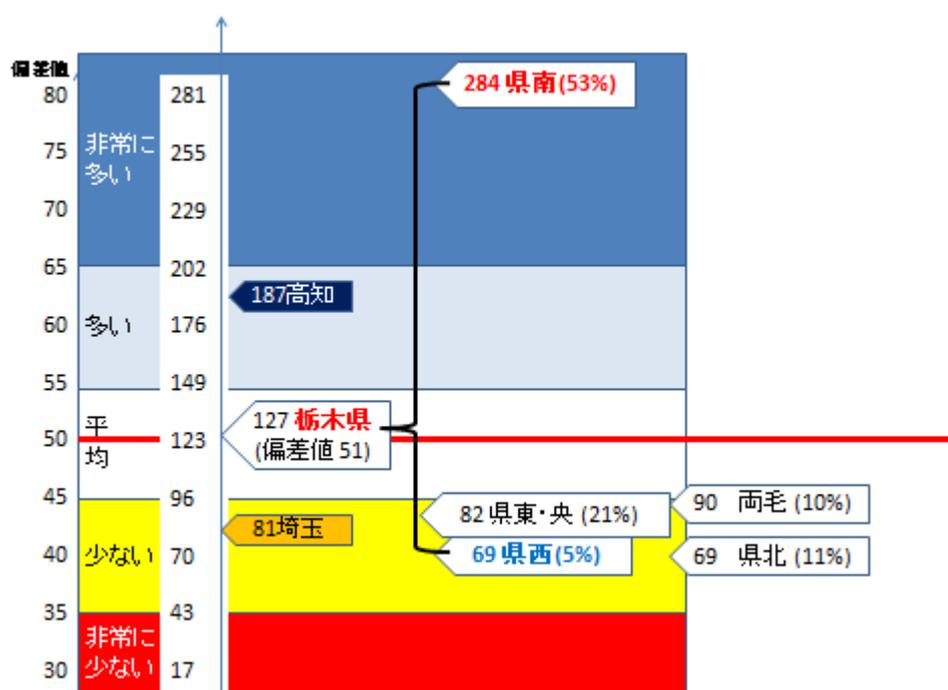


図 9-4 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数

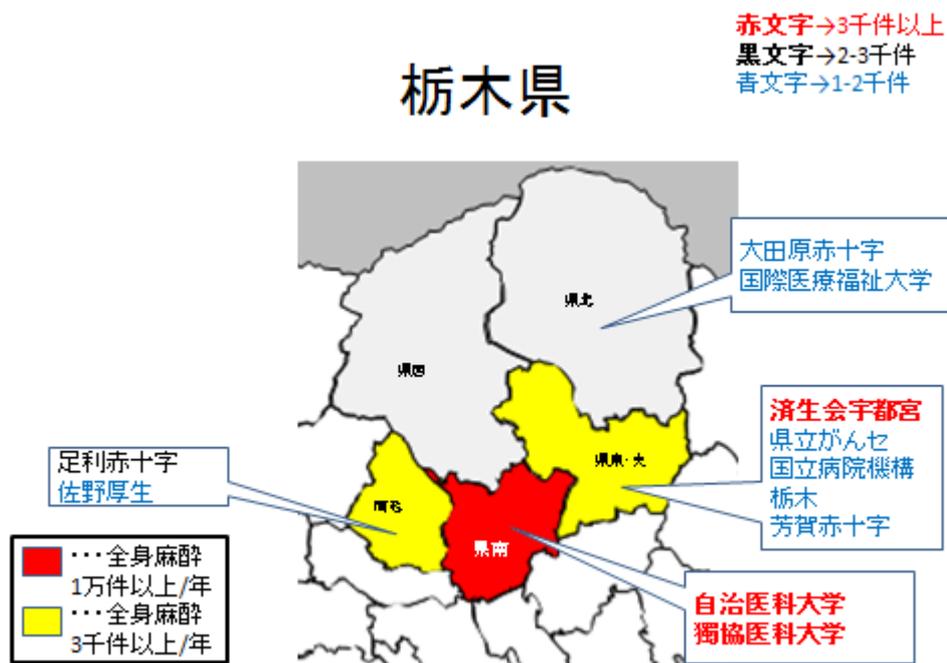
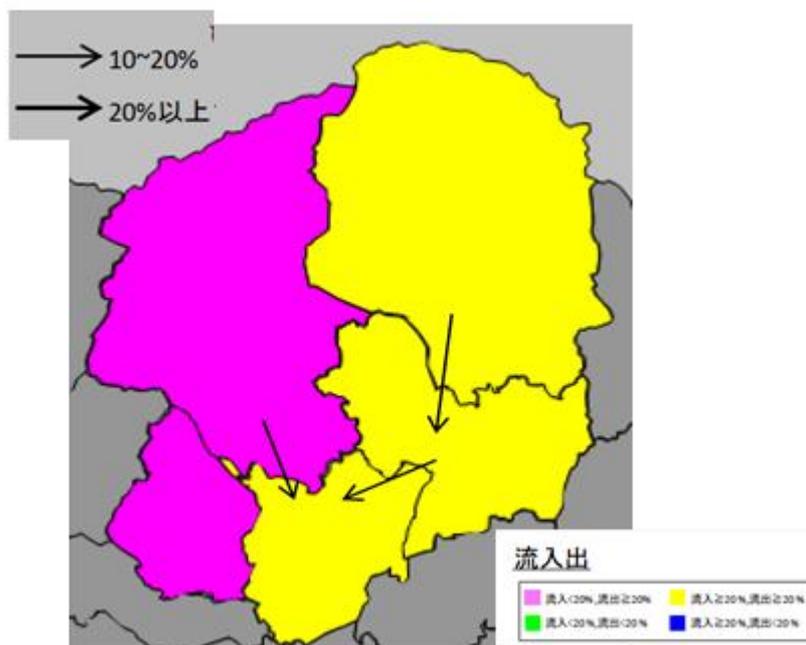


図 9-5 二次医療圏（流入出）



厚生労働省「医療計画の見直しに関する都道府県説明会資料」H. 24. 3
(図 9-5)

表 9-6 介護保険施設ベッド数と高齢者施設収容数

二次医療圏	介護保険施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	老人保健 施設収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	特別養護 老人ホーム 収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	704,693		50	11.6	308,426		22	5.6	396,267		28	10.1
栃木県	10,229	1.5%	47	48	4,867	1.6%	23	51	5,362	1.4%	25	47
県北	2,053	20%	45	46	996	20%	22	50	1,057	20%	23	45
県西	1,257	12%	48	48	590	12%	23	51	667	12%	26	47
県東・央	2,979	29%	47	48	1,429	29%	23	51	1,550	29%	25	47
県南	2,218	22%	47	47	1,037	21%	22	50	1,181	22%	25	47
両毛	1,722	17%	51	51	815	17%	24	54	907	17%	27	49

表 9-7 高齢者住宅数（高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム）

二次医療圏	高齢者 住宅数 合計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	有料老人 ホーム計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	640,142		45	18.1	235,778		16.8	10.9	157,413		11.2	6.0
栃木県	5,587	0.9%	26	39	760	0.3%	3.5	38	1,595	1.0%	7.4	44
県北	850	15%	19	35	40	5%	0.9	35	351	22%	7.7	44
県西	546	10%	21	36	77	10%	3.0	37	168	11%	6.4	42
県東・央	1,826	33%	29	41	247	33%	3.9	38	392	25%	6.2	42
県南	1,021	18%	21	37	104	14%	2.2	37	360	23%	7.6	44
両毛	1,344	24%	40	47	292	38%	8.7	43	324	20%	9.6	47

表 9-8 2010年→35年の介護・医療の需要予測

二次医療圏	地域 区分	2010→35 総医療 需要	2010→35 0-64歳 医療需要	65-74歳 医療需要	0-74歳 医療需要 (再計)	75歳以上 医療需要	2010→35 総介護 需要
全国		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
栃木県		12%	-26%	3%	-17%	66%	56%
県北	2	12%	-27%	6%	-16%	62%	54%
県西	3	2%	-35%	-8%	-25%	44%	37%
県東・央	2	20%	-22%	13%	-11%	86%	74%
県南	2	14%	-25%	4%	-15%	74%	63%
両毛	2	-3%	-32%	-15%	-26%	36%	29%

図 9-6 栃木県 2010年→35年介護医療需要の増減予測

